

////////////////////////////////////
ICC WordPress基礎 vol.25
All in One SEO を触ってみよう
////////////////////////////////////

icc-booksのWP管理画面を開く

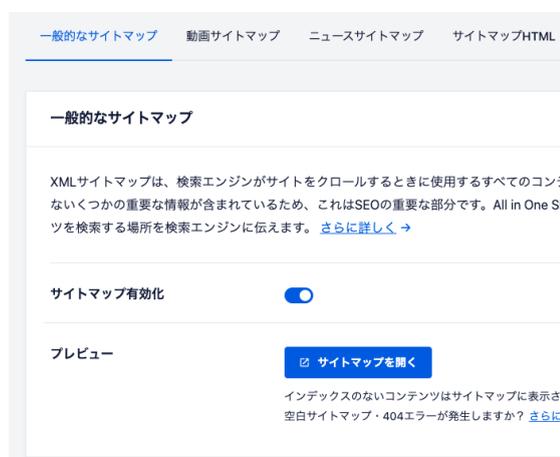
- 「Local」を立ち上げて、icc-booksの左側のグレーの三角をクリックしてサイトを起動し、Localの右端にあるADMINボタンをクリックしてWP管理画面にログインしよう。

「All in One SEO」プラグインのインストール

- プラグイン > 新規追加 で「All in One SEO」と検索、インストール、有効化

サイトマップを有効化する

- All in One SEO > サイトマップ を開く
- 最初のタブ「一般的なサイトマップ」のサイトマップ有効化 が青い状態(=有効化されている)になっていることを確認。なっていない場合はクリックして有効化。



※サイトマップとは、検索エンジンの巡回ロボットに記事の概要を拾ってもらうためのテ

キストファイル(フォーマットはXML)。記事を投稿すると随時更新される。巡回ロボットはこれをいわば“地図”としてそのサイトの情報を拾って検索エンジンに登録する。

「書籍一覧」でスコアを確認

- 書籍 > 書籍一覧 を開く
- 各記事の右端に、初期状態では「N/A」と表示されている部分に今後スコアが表示される。



サンプル文章でSEOスコアの変化を試してみよう

- 書籍 > 新規追加 で編集画面を開く

次のサンプル文章を流し込み、タイトルや見出しを設定したり、「SEO」というキーワードの前後に半角スペースを入れてみてスコアが変わることを確認してみよう。

----(以下サンプル)----

タイトル：
SEO対策

本文：
SEO(Search Engine Optimization, 検索エンジン最適化)はWebサイトを運営するにあ

たり重要な項目です。SNSがネットの主役になったいまでも「Googleで検索する」という行為はなくなっています。Webサイト運営に欠かせないSEOについての解説と、WordPressにおけるSEO対策の具体的な方法を解説します。

SEOとは

SEO = Search Engine Optimization (サーチ・エンジン・オプティマイゼーション) = 検索エンジン最適化

Googleなどの検索結果で上位表示されるように、コンテンツ/Webサイトを検索エンジンに最適化する作業の総称。

- ・SNSがネットの主役になった現在でも「Googleで検索する」という行為はなくなるはない
- ・Googleで検索して1ページ目に自社サイトが出てこないということは存在しないのと同じ

----(サンプルここまで)----

まず「フォーカスキーフレーズ」を設定しよう

- 本文した、AIOSEO設定 > Generalタブ、4項目目の「フォーカスキーフレーズ」に「SEO」と書いて「フォーカスキーフレーズを追加する」ボタンをクリック

フォーカスキーフレーズ ②

SEO

② フォーカスキーフレーズを追加する



- 右ペイン > 書籍 の AIOSEO というアコーディオンをクリックすると All in One SEO のスコアの概要が表示される。

AIOSEO

- ✔ Visibility: **Good!**
- ✔ SEO分析: **94/100**
- ✘ 読みやすさ: **1 error found!**
- ✔ フォーカスキーフレーズ: **100/100**

スニペットプレビュー:

https://icc.firstelement.co.jp/seo-7t...
SEO対策で検索上位表示！7つのポイントを確認【2022年 保存版】 - ICC Web基礎
 SEO (Search Engine Optimization, 検索エンジン最適化) の重要性と技術解説、SEO対策の実例を紹介。今日でもWebサイト運営に欠かせないSEOについてWordPressのSEO対策プラグイン「All in one SEO」を使用した具体的な設定例も交えて紹介。

記事を書き進めていくとスコアが随時更新されていく。ターゲットキーワード(および関連するキーワード)を意識して、見出しに含めたり、複数回キーワードを入れてみたり、キーワードの位置をタイトルや見出しの前のほうに持ってきたりすることでスコアが変化することを確認しよう。

記事編集画面下部のセクションで記事ごとのSEOの設定をおこなう

The screenshot shows the AIOSEO settings interface. The 'Meta Description' section is expanded, displaying a preview of the meta description text: "SEO (Search Engine Optimization, 検索エンジン最適化) の重要性と技術解説、SEO対策の実例を紹介。今日のWebサイト運営に欠かせないSEOについてWordPressのSEO対策プラグイン「All in one SEO」を使用した具体的な設定例も交えて紹介。" Below the preview, there are buttons for '+ 投稿説明', '+ 投稿コンテンツ', '+ 区切り', and 'すべてのタグを表示 →'. A score of 'SEO 100/100' is shown. The 'Focus Keyphrase' section is also visible, showing 'SEO' as the focus keyphrase with a score of '100/100' and a list of suggestions including 'Focus keyphrase in SEO title', 'メタ説明のフォーカスキーワード', 'Focus keyphrase in URL', 'フォーカスキーワードの長さ', '導入にフォーカスキーワード', 'Focus keyphrase in Subheadings', and '画像のalt属性のフォーカスキーワード'. A button 'Get Additional Keyphrases' is also present.

スニペットプレビュー

検索結果での見た目を確認できる。

This screenshot shows the '投稿タイトル' (Post Title) section of the AIOSEO settings. It features a preview of the title text: "https://cc.firstelement.co.jp/seo-7tips-for-heigher-position-in-google-se... SEO対策で検索上位表示!7つのポイントを確認【2022年保存版】-ICC Web基礎". Below the preview, there are buttons for '+ 投稿タイトル', '+ 区切り', '+ サイトのタイトル', and 'すべてのタグを表示 →'. A score of '100/100' is displayed.

書籍タイトル

検索結果に表示されるタイトル(青字の部分)を編集できる。ターゲットキーワードを含

み(なるべく冒頭で使う)、推奨文字数に収まるように調整。

This screenshot shows the 'メタ説明' (Meta Description) section. It features a preview of the meta description text: "SEO (Search Engine Optimization, 検索エンジン最適化) の重要性と技術解説、SEO対策の実例を紹介。今日のWebサイト運営に欠かせないSEOについてWordPressのSEO対策プラグイン「All in one SEO」を使用した具体的な設定例も交えて紹介。" Below the preview, there are buttons for '+ 投稿説明', '+ 投稿コンテンツ', '+ 区切り', and 'すべてのタグを表示 →'. A score of '100/100' is displayed.

Meta Description

検索結果のタイトル下に表示される要約を編集できる。ターゲットキーワードを含み、記事の概要を簡潔明瞭に書く。推奨文字数に収まるように調整。

This screenshot shows the 'フォーカスキーワード' (Focus Keyphrase) section. It features a preview of the focus keyphrase text: "SEO". Below the preview, there are buttons for '+ 投稿説明', '+ 投稿コンテンツ', '+ 区切り', and 'すべてのタグを表示 →'. A score of '100/100' is displayed. A list of suggestions is shown, including 'Focus keyphrase in SEO title', 'メタ説明のフォーカスキーワード', 'Focus keyphrase in URL', 'フォーカスキーワードの長さ', '導入にフォーカスキーワード', 'Focus keyphrase in Subheadings', and '画像のalt属性のフォーカスキーワード'. A button 'Get Additional Keyphrases' is also present.

フォーカスキーワード

その記事においてターゲットとするキーワードを設定する(この例では「SEO」)。記事を書き進めると、それぞれの評価項目が代わり、対応が必要な項目を示してくれる。

This screenshot shows the 'ページ分析' (Page Analysis) section. It features a preview of the page analysis text: "基本的なSEO". Below the preview, there are buttons for '+ 投稿説明', '+ 投稿コンテンツ', '+ 区切り', and 'すべてのタグを表示 →'. A score of '100/100' is displayed. A list of suggestions is shown, including 'Focus keyphrase in content', '導入にフォーカスキーワード', 'メタ説明のフォーカスキーワード', 'Focus keyphrase in URL', 'フォーカスキーワードの長さ', 'メタ説明の長さ', 'Content length', '内部リンク', and '外部のリンク'.

ページ分析

ページ全体のSEOの評価が表示される。

All in One SEO は日本語の分析は不完全。あくまで参考程度に。

このプラグインは、日本語を正しく分析できない。英語は単語をスペースで区切るが日本語は区切らない。そのため、文章全体を1つの単語として認識されてしまう。たとえば「Content length」という評価項目は×マークになっていて「コンテンツが最小単語数を下回っています」と表示される。これはそれを表している。また「遷移後」が同じく×になっている。これは英語だと「Additionally,」「Usually,」「For example,」といった文章の切り替えの言葉を示し、日本語は正しく認識されない。

タイトルや見出しに入れたターゲットキーワードの前後に半角スペースを入れると単語として認識されるのでスコアが変わる。その状態でキーワードの増減や位置を調整し、目安にすると良い。

以上のように、同プラグインは完璧ではないが、意識すべき項目を示してくれたりサイトマップの出力など有益ではあるので、SEOの基本設定として、あるいはSEOの意識付けとして利用すると良い。

大事なことは些末なテクニックではなく、記事全体を【キーワードを意識して書く】こと、その結果として閲覧者にわかりやすい文章が書き上がっているかどうか、ということ。

以上